

ソリストたちが奏でる  
音の大三角形!!

*Bandoneon*  
三浦一馬

トリニティイズム


# TRINITYISM

*Violin*  
成田達輝

2024年

4/27 (土)

14:00 開演 (13:30 開場)

 浜離宮朝日ホール

全席指定 6,000 円 (税込)

©Marco Borggreve

*Program*

ドビュッシー：月の光  
プーランク：城への招待  
ピアソラ：ブエノスアイレスの冬  
ピアソラ：アディオス・ノニーノ

※都合により曲目・曲順などを変更させていただく場合がございます。

*Piano*  
ロー磨秀

M<sub>∞</sub>CON  
PRODUCTIONS

# TRINITYISM

## 三浦 一馬 (バンドネオン)

Kazuma Miura

10歳よりバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年10月、イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・パシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。2014年度出光音楽賞受賞。既成の概念にとらわれない意欲的な取り組みや、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりが2010年9月NHK「トップランナー」に取り上げられる。2016年はデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフの「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。2017年、ドイツにてドグマ・チェンバーオーケストラとマルコーニ作曲の「カメラダングス」で共演。また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を新たに結成し、さらなる活動の場を拡げている。2021年、ピアソラ生誕100年に合わせて、東京グランド・ソロイストとしての初音源「ブエノスアイレス午前零時」をリリース、同時にピアソライヤーを記念した全国ツアー公演の開催。2022年12月にピアソライヤーの最後飾る新譜「三浦一馬五重奏団『ピアソラスタンダード&ビヨンド』」を発売。また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。

## 成田 達輝 (ヴァイオリン)

Tatsuki Narita

ロン＝ティボ国際コンクール(2010)で第2位およびSACEM著作権協会賞受賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール(2012)にて第2位およびイザイ賞受賞、仙台国際音楽コンクール(2013)で第2位受賞。その超絶技巧と詩情豊かな音楽性に、「バガニーニの再来」とフランス紙で評された。ペトル・アルトリヒテル、オーギュスタン・デュメイ、ピエタリ・インキネンなど著名指揮者および国内外のオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルやジャンルにこだわらない様々なアーティストとの室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。現代作曲家とのコラボレーションも積極的に行っている。2013年サントリー芸術財団サマーフェスティバルで成田が演奏した酒井健治作曲のヴァイオリン協奏曲「G線上で」は芥川作曲賞を受賞。2017年11月には一柳慧作曲のヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲を世界初演(チェロ：堤剛)。2022年9月には坂本龍一のヴァイオリンソナタを録音した他、カンブルラン指揮/読売日本交響楽団と演奏した一柳慧作曲「ヴァイオリンと三味線のための協奏曲」(世界初演)の公演は2022年度芸術祭大賞を受賞した。これまでに、澤田まさ子、市川映子、藤原浜雄、ジャン＝ジャック・カントロフ、スヴェトリン・ルセフ、フローリン・シゲティ、田中綾子の各氏に師事。リリースしたCDは「成田達輝デビュー!サン＝サンス、フランク、フォーレ、バガニーニ」(ピアノ：テオ・フシュメル)海外での演奏活動も積極的に行っており、2018年、2019年には韓国平昌で行われた音楽祭に参加し、ソン・ヨルム、スヴェトリン・ルセフらと共演。2018年にはミンスクで行われたユーリー・パシュメット音楽祭にも参加している。ホテル・オーケストラ音楽賞、出光音楽賞、上毛芸術文化賞、道銀文化奨励賞受賞。使用楽器は、アントニオ・ストラディヴァリ黄金期の「Tartini」1711年製。(宗次コレクションより貸与)。


## ロー 磨秀 (ピアノ)

Matthew Law

桐朋高等学校音楽科に特待生として入学し、ピアノ科を首席で卒業した後、桐朋学園大学音楽学部を経て渡仏。パリ国立高等音楽院のピアノ科および修士課程を、審査員満場一致の最優秀および首席で卒業。数多くのコンクール歴を持ち、2012年には第8回ルーマニア国際音楽コンクールで第1位とグランプリ(最優秀賞)を受賞した。また、2015年第1回デュオ・ハヤシ・コンクールで第1位を獲得したほか、日本国内では、2006年第60回全日本学生音楽コンクール東京大会・全国大会第1位、2007年第3回PTNA福田靖子賞(第1位)受賞、2009年第33回PTNAピアノ・コンクール特級銅賞および聴衆賞を受賞した。ヨーロッパ各地でリサイタルを開催しており、帰国後は東京を始め活躍の場を拡げている。室内楽ではこれまでに、篠崎史紀、木越洋、伊藤悠貴、弓新、正戸里佳、上野星矢、吉田誠等と共演している。ピアノを勝又浅子、今泉統子、高良芳枝、二宮裕子、ジャック・ルヴィエ、オルタンス・カルティエ・プレッソン、フェルナンド・ロッサーノに師事。2021年9月、配信済み音源にボーナストラックを加えたクラシックアルバム「Mélange」でCDデビュー。また、シンガーソングライターとしての一面を持ち、自身の作品を披露し人気を集めており、メディアへの楽曲提供なども行っている。2019年12月にPOPS配信シングル「Want Money / Last Song」を皮切りに連続シングルリリースを行い、新人ながらもサブスタのプレイリストに多数入る。20年6月にはPOPSアルバム「LOST2」を配信リリースし、収録曲が日テレ「バグット」同年11月度エンディングテーマ、セキュリティーソフト「ノートン」のWEB CM等に採用されるなど注目を集めている。TBSラジオ「アフター6ジャンクション」出演や、NACK5「キラスタ」ではパーソナリティの代役を務めるなど、メディア露出でも抜群のトーク力で好評を得る。2021年6月には、ドラマ「大豆田とわ子と三人の元夫」(カンテレ/フジテレビ系列)の挿入歌の作詞を担ったことでも話題を得ている。2021年9月、MBSお天気コーナー秋のタイアップ曲「Promenade〜秋晴れ〜」を書き下ろし、翌月にデジタル配信された。2022年4月、NHK土曜ドラマ「17才の帝国」にて劇中、同年7月、是枝裕和監督が手掛けたCMの音楽にもピアノで参加している(いずれも坂東祐大作曲)。

2024年 4月 27日 (土)

14:00 開演 (13:30 開場)

 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5丁目3-2 朝日新聞東京本社 新館2階  
TEL: 03-5541-8710

全席指定 6,000円 (税込)

お問い合わせ: Mitt 03-6265-3201 (平日12:00~17:00)

### ●ローソチケット

<https://l-tike.com/trinityism/> / Lコード:32724 ※PC/スマートフォン共通  
ローソン・ミニストップ店内端末「Loppi」にて一般発売日以降直接購入可能

### ●イーラス

<https://eplus.jp/trinityism/> ※PC/スマートフォン共通  
ファミリーマート店内端末にて一般発売日以降直接購入可能

### ●チケットぴあ

<https://w.pia.jp/t/trinityism/> / Pコード:261-933 ※PC/スマートフォン共通  
セブンイレブン店内端末マルチコピー機にて一般発売日以降直接購入可能

### ●朝日ホール・チケットセンター

03-3267-9990(オペレーター対応日・祝除く10:00~18:00)  
<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

### ●MITT TICKET

03-6265-3201(平日12:00~17:00)

※未就学児入場不可。※開場は開演の30分前

※車椅子席をご希望のお客様は、必ず公演の2営業日前までにMITT TICKETにてお電話でチケットをご購入頂きますようお願い申し上げます。お連れ様のご鑑賞される場合もチケットは必要です。

<連絡先> Mitt TEL:03-6265-3201(平日12:00~17:00)